

【東日本大震災】

骨折した手で埋まった友人救った 大川小児童ら証言

2011年8月24日

東日本大震災の津波で児童の約七割に当たる七十四人が死亡・行方不明となった宮城県石巻市の大川小学校の被災状況について、市教育委員会が生き残った教員や児童らから聞き取り調査した報告書の内容が二十三日、判明した。手を骨折しながら埋もれた友達を助け出した児童もあり、津波に襲われた際の様子が生々しく語られている。

▽被災までの行動

帰りの会が終わり「さようなら」を言っている最中に地震が来た(5年)。保護者に贈るVTR作成のため、教室で歌「ありがとう」を録音していた(4年)。友達はパニックになってピアノを足で蹴っていた。先生が落ちていて「校庭へ避難しましょう」と言った(5年)。

▽被災時の様子

普段使わない教室の校庭側ドアから外に出た。校庭で「山へ登るの」と聞いたら、先生は「登れないだよ。危ないからだめなんだ」と言った(1年)。学校の近くで「大津波警報。高台に避難して」と鳴っていた。友達に「津波が来るかな」と話しかけた(3年)。教頭先生は山に逃げた方が良いと言っていたが(地元の)人は「ここまで来ないから大丈夫」と言って、けんかみたいにもめていた(5年)。校庭で吐いたり、泣いたりしている子がいた。「大丈夫だぞ」「こんなところで死んでたまるか」と話していた(5年)。放送機器が使用不能となり校舎内を回り校庭へ避難を指示した。校舎内や体育館に、逃げ遅れた児童がいないことを確認した(教諭)。

▽被災後の行動

風がビューと来て、津波に巻き込まれた。姉も祖父母もいなくなった(1年)。高台に向かう途中、津波が見えたので山側へ走った。波にのまれ左手が何かにぶつかった。ヘルメットの中の空気が浮力になり、水面に上がった。偶然にドアが外れた冷蔵庫に触れたので中に入った。舟のようになった。山に降りたら友達が土に半分埋まっていた。右手で枝をつかみながら、骨折した左手で土を掘った。2人で山の中腹に座り「助けて」と言っていると、おじさんが来てみんなのいるところに連れて行ってくれた。流れてきた「カスタードクリーム」「ミカン」を食べた(5年)。6年生から一列で山沿いに歩き、県道に登ろうとした時、前方左側から津波が来た。前にいたので津波が見え、すぐ来た道を山側へ走った。高学年のみんなは山の方へ走って、山に登ろうとしたが、雪で滑って登れなかった。そのうちに波に巻き込まれてしまった。低学年の子たちは、なんで高学年が走って戻ってきたのか分からないようだった。波に押し上げられ、山の途中で土に埋まって動けなくなった。友達



津波で児童74人が死亡・行方不明となった大川小学校。今も追悼に訪れる人が後を絶たない＝23日午後、宮城県石巻市で

が来て、土を掘り助けてくれた(5年)。津波に備え避難場所を検討した。山は倒木が懸念され適さないと判断。住民と教頭が相談し、近辺では一番高い橋のたもとへ避難することにした。校庭を出て駐車場付近で津波が来た。最後尾におり「山だ」と叫んだ。山に登ったが倒木に挟まれ動けなくなった。その後、動けるようになり、近くにいた3年児童を連れ、さらに登った。落ち葉を敷き雪をしのごうとした。松くい虫防除用のシートをはがしてくるまった。車の中で夜を過ごした。腕を脱臼しており、病院に搬送された(教諭)。(学年は当時)



NHKあさイチで紹介！年齢肌をピンッと跳ねさせる秘訣とは？
PR(ユーグレナ)



部下たちの見る目が変わる！あなたのサインは大丈夫？
PR(ダイナースクラブ)



ビジネスマン必見！TOUGHな革靴防水シリーズ発売
PR(アシックス商事)



価格だけでNAS製品を選んではいけない理由
PR(日本ビューレット・パッカード)



おしゃれでしかも安いオーダースーツの魅力とは！？
PR(Global Style)

はたらく人のネット印刷

ラクスタイル

click >

ラクスタイル

年賀状印刷

サイトから簡単作成

通常印刷

はたらく人のネット印刷

ラクスタイル

click >

ラクスタイル

年賀状印刷

サイトから簡単作成

通常印刷